

石川県白山一里野ジャンツェ 中期経営目標

(実施期間 平成30年度～平成34年度)

平成30年 3月 策定

1 施設の設置目的

白山一里野ジャンツェは、本県で唯一のスキージャンプ競技施設であり、「競技大会の開催」や「地元選手の育成強化」を通してスキー競技の振興を目指すことを目的としています。

2 施設の果たすべき役割

白山一里野ジャンツェは、白山市の白山一里野温泉スキー場に隣接しており、両者が一体となってスキーエリアを構成しています。

本施設はジャンプ競技の大会開催が可能であることはもとより、本県在住の選手の練習の場として年間を通して利用が可能であり、本県のスキー競技の振興に寄与することを、その役割としています。

3 事業内容

(1) スキージャンプ競技大会の開催

本施設は、全日本スキー連盟公認の40m級ジャンプ台を有しており、平成8年の建設以降、平成11年及び20年の2度にわたり全国中学校スキー大会のジャンプ競技会が開催されています。

(2) 年間を通じた練習会場の提供

本施設の着地面は人工芝となっており、積雪がない夏季にもジャンプ競技を行うことが可能なことから、県内のスキー選手が年間を通して継続的に練習を行うことができます。

4 現状と課題

(1) 管理運営体制について

- ・民間ノウハウを活用して、施設を効率的・効果的に管理するため、白山一里野ジャンツェでは平成18年度から指定管理者制度を導入しています。
- ・施設の運営及び利用促進、施設・設備及び備品の維持管理及び修繕などの業務は指定管理者が行っており、当中期経営目標の実施期間である平成30年度から平成34年度までは、「株式会社スノーエリアマネジメント白山」を指定管理者として指定しています。

- ・指定管理者は、近隣施設との連携を図りながら、効率的な施設運営に努めています。
- ・指定管理者による適切な管理運営を行うため、管理業務に関する情報交換に努めています。
- ・県は、指定管理者と調整し、施設の修繕・改修を実施しており、今後も取り組みを継続していく必要があります。

(2) 施設の利用促進及びサービス(満足度)向上について

- ・本施設は山間地に建設されており、台風や豪雨に伴う落石によって施設や設備が破損することが度々あることから、利用者の安全確保と快適な利用のため、県と指定管理者が連携して施設の維持補修を適切に行う必要があります。
- ・本施設はスキーのジャンプ競技専用という特殊な施設であることから、利用者層が限られていますが、利用申込みに対応しながら、効率的な管理を行う必要があります。
- ・県内の競技者の絶対数が少なく、また、競技の特殊性から一般の利用も困難であることから、利用促進のためには既存の競技者の取り込みと競技人口の拡大を図る必要があります。

(3) 施設運営の効率化について

- ・今後とも、指定管理者の創意工夫に基づいた効率的な管理運営により、質の高いサービスを利用者に提供するとともに、管理経費の節減に努める必要があります。

5 中期経営目標

(1) 中期経営目標（指定管理者が実現すべき目標）

- ① 県内唯一のスキージャンプ競技施設として、より多くの方に活用いただけるよう努めます。
- ② 利用者アンケートによる満足度は、引き続き95%以上を維持します。

(2) 測定指標と目標値

測定指標		基準値(H28)	中間目標値(H32)	最終目標値(H34)
①	利用者数（観客数を除く）	35人	40人	40人
②利用者アンケートによる満足度	利用者サービス	100%	95%以上	95%以上
	施設の維持・管理	100%	95%以上	95%以上

6 指定管理者が設定した目標達成に向けた具体的な取組内容

(1) 施設の利用促進及びサービス(満足度)向上に向けた取り組み

- ・台風や豪雨等の荒天時には巡回を行い、利用者にとって危険な破損が発生していないか、特に本施設は急な斜面に建設されている為、上流方向からの落石や、雨水による施設基礎部分の浸食がないか等、細部に至るまで点検を実施します。
本施設はジャンプ台という特殊な競技施設であり、重大事故防止、危険回避の観点からも、アプローチレールに流す水量やランディングエリア人工芝への散水など、スキーと接触する部分の摩擦抵抗には常に注意し、ポンプをはじめとする給排水設備の管理を徹底するなど、施設の安全管理には特に留意し、万全を期して施設運営に努めます。
- ・ジャンプ競技専用という施設の特特殊性から、常時利用される施設ではありませんが、利用があるときには監視員を配置して事故防止を図るとともに、事故や災害が発生した場合にも迅速に対応できるよう、社員研修や防災訓練・避難訓練を定期的に行います。
- ・冬場の圧雪作業は特殊な作業であり、また短期間であることから、経験豊富なオペレーターを配置し、安全で競技規則に沿ったランディング等の整備に努めます。
- ・地元競技者やスキー競技団体に積極的に施設を利用していただけるよう働きかけるほか、希望者に対し、ジャンプ競技を気軽に見て楽しんでいただけるよう、案内対応を行います。
- ・インターネットを活用して施設周辺の気象情報を積極的に発信するなど、利用者への情報提供の充実を図ります。
- ・利用者のご意見・ご要望を把握するためアンケートを実施し、要望内容に対して改善策を検討し、利用者サービス向上に繋がります。

(2) 施設運営の効率化に向けた取り組み

- ・指定管理者が管理する他の施設（白山一里野温泉スキー場）と一体的に業務を行い、運営経費の節減を図るなど、効率的・効果的な管理を行います。
- ・安全、安心を念頭に常に置きながら、極力外部への作業委託を避け、メンテナンス等を直営で対応することにより、経費の抑制と業務能力の向上に努めます。

参考資料(施設の利用状況など)

(1) 利用指標(利用者数)

(単位:人)

項目	H25	H26	H27	H28
利用者数	16	45	77	35

(2) 利用者アンケート指標(利用者サービス、施設の維持管理)(単位:%)

項目	H25	H26	H27	H28
良い		75.0	53.7	86.9
概ね良い	100	23.7	42.1	13.1
計	100	98.7	95.8	100
やや悪い		1.3	4.2	
悪い				